

## 記者発表（レク）資料

平成18年7月31日

報道機関 各位

### 国立大学法人東北大学総長選考会議

#### 国立大学法人東北大学の次期総長候補者に井上明久氏が決定

国立大学法人東北大学総長選考会議（小田 滋議長。以下「総長選考会議」という。）は、吉本高志国立大学法人東北大学総長の任期満了（平成18年11月5日）に伴う次期総長候補者の選考を進めてまいりましたが、本日開催の総長選考会議において、井上明久氏（国立大学法人東北大学金属材料研究所教授）を次期国立大学法人東北大学総長候補者として選考いたしました。

なお、このことについて下記により記者会見を行います。

記

日 時； 7月31日（月）午後4時

場 所； 東北大学本部第3会議室

（仙台市青葉区片平丁2-1-1 本部別館）

（注記）

任 期：平成18年11月6日～平成24年3月31日

（総長の任期は6年であるが、任期のスタートが4月1日でない場合は5年経過年度の3月31日まで。）

今後、文部科学大臣に申し出て、平成18年11月6日付けで発令される予定

本件に関する問合せ

東北大学総務部企画調整課

TEL 022-217-5058

FAX 022-217-5030

## 国立大学法人東北大学総長候補者の選考経過概要

国立大学法人東北大学総長選考会議（以下「総長選考会議」という。）は、平成17年12月7日開催の同会議において平成18年11月5日に任期が終了する国立大学法人東北大学総長の後任の総長候補者の選考を開始することを決定し、平成17年12月19日に「国立大学法人東北大学における総長候補者の選考及び総長解任の申出に関する規程（平成17年規第3号）」第5条第1項の規定に基づき経営協議会及び教育研究評議会に対し総長候補者の推薦を求め、また同条第3項の規定に基づき教授又は助教授30人以上の連名による推薦を受け付けることを公表した。

その結果、経営協議会及び教育研究評議会からはそれぞれ井上明久東北大学金属材料研究所教授1名のみが推薦され、教授又は助教授30人以上の連名による推薦はなかった。

総長選考会議は、同規程第6条の規定に基づき、推薦された候補者を基礎として平成18年4月から総長候補者の選考を開始し、7月31日に開催された総長選考会議において、総長候補者として井上明久東北大学金属材料研究所教授を選考した。

## 履 歴 書

フリガナ 氏名 (年齢)	イノウエ アキヒサ 井上明久 (58歳)	(男)・女	本籍地(都 道府県名) 又は国籍	兵庫県
学 歴				
年 月	事 項			
1975. 3	東北大学大学院工学研究科金属材料工学専攻博士課程 修了 工学博士論文「炭素鋼および合金鋼中セメント炭化物の変形と破壊挙動に関する研究」			
職 歴				
年 月	事 項			
1976. 4	東北大学金属材料研究所助手			
1985. 5	東北大学金属材料研究所助教授			
1990. 5	東北大学金属材料研究所教授 (1998年3月まで)			
1997. 4	東京工業大学精密工学研究所教授 (併任：2001年3月まで)			
1997. 10	科学技術振興事業団創造科学事業「井上過冷金属プロジェクト」総括責任者 (2002年9月まで)			
1998. 4	東北大学未来科学技術共同研究センター教授 (2000年3月まで)			
1998. 4	東北大学金属材料研究所教授 (併任：2000年3月まで)			
2000. 4	東北大学金属材料研究所教授 (現在に至る)			
2000. 4	東北大学金属材料研究所長 (併任：現在に至る)			
2000. 4	東北大学極低温科学センター長 (併任：現在に至る)			
2000. 4	東北大学学際科学研究センター長 (併任：2003年3月まで)			
2000. 4	東北大学未来科学技術共同研究センター教授 (併任：2002年3月まで)			
2001. 4	文部省科学官 (併任：2002年3月まで)			
2002. 4	文部科学省科学官 (併任：2004年3月まで)			
2002. 11	東北大学総長補佐 (併任：2005年3月まで)			
2003. 4	東北大学学際科学国際高等研究センター長 (併任：現在に至る)			
2004. 4	東北大学経営協議会委員 (併任：現在に至る)			
2004. 4	東北大学総長選考会議委員 (併任：2006年3月まで)			
2005. 4	東北大学副学長 (併任：現在に至る)			
2005. 4	東北大学金属材料研究所附属金属ガラス総合研究センター長 (併任：現在に至る)			
2005. 4	東北大学百万ボルト電子顕微鏡室長 (併任：現在に至る)			
2005. 4	東北大学研究基盤推進本部長 (併任：現在に至る)			
2006. 4	東北大学研究教育基盤技術センター長 (併任：現在に至る)			
2006. 4	東北大学国際高等研究教育院長 (併任：現在に至る)			
2006. 4	東北大学金属材料研究所附属研究施設大阪センター長 (併任：現在に至る)			
	(その間) 1982-1983年、1984年、1986年の3回、米国ベル研究所客員研究員 1985年スウェーデン国立金属研究所客員研究員 1987年スウェーデン王立工科大学客員研究員			

社会における活動等	
年 月	事 項
	(2000年4月以降に限定)
2000. 4	内閣府総合科学技術会議ナノテクノロジー・材料専門委員 (2002年3月まで)
2000. 4	新エネルギー・産業技術総合開発事業団「超低損失柱上トランス材料プロジェクト」プロジェクトリーダー (2003年3月まで)
2000. 12	文部省学術審議会専門委員 (2002年3月まで)
2001. 1	文部省学術審議会学術分科会、科学研究費補助金審査部会理工系委員会、専門委員 (2003年1月まで)
2001. 4	新エネルギー・産業技術総合開発事業団「ナノメタルプロジェクト」プロジェクトリーダー (2007年3月まで)
2002. 4	文部科学省科学技術・学術審議会学術分科会委員 (現在に至る)
2002. 4	文部科学省科学研究振興局ナノテクノロジー・材料委員会委員 (現在に至る)
2002. 4	文部科学省科学技術政策研究所、科学技術動向研究センター専門調査委員 (現在に至る)
2002. 4	新エネルギー・産業技術総合開発事業団「金属ガラスの成形加工技術プロジェクト」プロジェクトリーダー (2007年3月まで)
2003. 12	文部科学省中央教育審議会大学分科会専門委員 (2006年1月まで)
2004. 1	文部科学省科学技術・学術審議会臨時委員 (現在に至る)
2004. 1	文部科学省科学技術・学術審議会学術分科会、学術研究推進部会委員 (現在に至る)
2004. 1	文部科学省科学技術・学術審議会学術分科会、研究環境基盤部会委員 (現在に至る)
2004. 1	文部科学省科学技術・学術審議会学術分科会、研究環境基盤部会学術研究設備作業部会委員 (現在に至る)
2004. 4	文部科学省9大学研究体制協議会委員 (現在に至る)
2005. 1	文部科学省科学技術・学術審議会学術分科会、科学研究費補助金審査部会委員、理工系委員会主査 (現在に至る)
	<p>その他に、京都賞審査委員、東レ科学技術賞審査委員、Acta Materialia Gold Medal 国際審査委員、松籟科学技術助成金審査委員、松籟科学技術助成財団評議員、ホソカワミクロン助成金審査委員、ホソカワミクロン科学財団評議員、(財)金属系材料研究開発センター評議員、日本金属学会理事、日本MRS理事、日本粉体粉末冶金協会副会長、米国MRS評議員、急速凝固・非平衡物質国際会議国際運営委員、ナノ組織材料国際会議組織委員長・国際運営委員、準結晶国際会議国際運営委員、非平衡・ナノ結晶材料国際会議組織委員長・国際運営委員、バルク金属ガラス国際ワークショップ組織委員長・国際運営委員、NEDO「高度部材基盤技術開発」技術委員会委員長、国際雑誌 (Journal of Applied Physics, Applied Physics Letter, Materials Science Forum, Journal of Metastable and Nonequilibrium Materials など計7誌) のEditorial Board MemberやPrincipal Editor等。</p>

賞 罰	
年 月	事 項
1974. 11	日本金属学会論文賞 (金属材料部門)
1976. 4	日本金属学会組織写真賞 (佳作)
1981. 5	村上記念奨励賞
1986. 4	日本金属学会組織写真賞 (佳作)
1986. 6	金属研究助成会研究奨励賞
1987. 10	日本金属学会論文賞 (材料物性部門)
1988. 3	日本金属学会組織写真賞 (佳作)
1988. 4	市村学術貢献賞
1990. 4	日本金属学会功績賞
1990. 9	日本金属学会論文賞 (材料物性部門)
1991. 7	金属材料科学助成賞
1992. 6	日本粉体粉末冶金協会研究進歩賞
1992. 10	日本金属学会論文賞 (材料物性部門)
1992. 10	日本金属学会論文賞 (工業材料部門)
1992. 10	日本金属学会技術開発賞
1993. 10	日本金属学会論文賞 (材料物性部門)
1994. 1	Acta Materialia et Materialia Outstanding Paper Award for 1992
1994. 6	Gold Medal(The First International Symposium on Nonequilibrium and Nanostructured Materials)
1994. 10	日本金属学会論文賞 (材料物性部門)
1994. 10	日本金属学会技術開発賞
1995. 12	日本金属学会技術開発賞
1996. 9	日本金属学会論文賞 (材料組織部門)
1996. 9	日本金属学会技術開発賞
1997. 5	日本粉体粉末冶金協会研究功績賞
1997. 9	日本金属学会技術開発賞
1998. 6	Best Invited Poster Award in the Fourth Int. Conf. on Nanostructured Materials (Stockholm)
1998. 9	Best Poster Award in JIMIS-9 Conference on Towards Innovation in Superplasticity (Kobe)
1998. 9	日本金属学会技術開発賞
1998. 12	Materials Research Society(MRS)-1998 Fall Meeting Best Poster Award (Boston)
1999. 9	Best Poster Award (The 6 <sup>th</sup> Int. Symp. on Nonequilibrium and Nanostructured Materials, Dresden)
2000. 3	日本金属学会学術功労賞
2000. 4	科学技術庁長官注目発明認定
2000. 8	Best Poster Award (The 4 <sup>th</sup> Int. Conf. on Nanostructured Materials,

	Sendai)
2000. 9	Outstanding Contribution Award in the Int. Conf. on Bulk Metallic Glasses (Singapore)
2000. 10	日本金属学会論文賞 (材料物性部門)
2000. 10	Citation Laureate Award (引用最高栄誉賞) (ISI)
2001. 1	The CONA Award(Hosokawa Powder Technology Foundation)
2001. 3	日本金属学会増本量賞
2001. 5	日本粉体粉末冶金協会研究進歩賞
2001. 9	日本金属学会論文賞 (材料物性部門)
2001. 9	日本金属学会技術開発賞
2001. 10	インドMRS名誉会員
2001. 10	中国大連理工大学名誉教授
2001. 11	日本機械学会機械材料・材料加工部門一般表彰 (優秀講演論文部門)
2002. 3	日本金属学会組織写真賞 (入賞)
2002. 6	日本学士院賞
2002. 10	2002 International Metallographic Contest Award, ASM International
2002. 11	日本金属学会論文賞 (工業材料部門)
2002. 12	MRS 2002 Fall Meeting Best Poster Award (Boston)
2003. 3	日本金属学会谷川・ハリス賞
2003. 3	日本金属学会組織写真賞 (佳作)
2003. 6	Kelly Lecture, University of Cambridge (Cambridge, UK)
2003. 7	THERMEC-2003 Distinguished Award, TMS, USA (Madrid, Spain)
2003. 10	服部報公会報公賞
2004. 3	日本金属学会優秀ポスター賞
2004. 9	日本金属学会技術開発賞 (2件)
2004. 11	日本粉末冶金工業会PM研究促進奨励賞
2005. 9	日本金属学会論文賞 (マテリア部門)
2005. 9	日本金属学会技術開発賞
2005. 11	スウェーデン王立工科大学名誉博士号
2005. 12	日本溶射協会、日本高温学会：溶射合同講演大会優秀賞
2006. 4	Distinguished Contribution Award, International Copper Association(Chile)
2006. 4	中国天津大学名誉教授
2006. 6	産学官連携功労者表彰「内閣総理大臣賞」

その他特記事項

学術論文：英文 約1750編、邦文 約100編、  
書籍：46冊、解説・集録：約210編、  
特許公開件数：約750件、権利化特許件数：約300件  
1995－2005年間の材料科学部門の論文被引用数世界第1位  
地元（仙台市）の大学発ベンチャー企業3社の創設と発展に寄与